

今すぐ確認!わたしにできること

◆自宅の災害リスクは、

[地 震] 津波 土砂災害 液状化 家屋の倒壊 その他()
[風水害] 洪水 土砂災害 高潮 その他()

⇒該当するものにチェックしましょう。津波や洪水はどのくらいの高さか調べましょう

◆避難先は、

[地 震] _____ (歩いて 分)
[風水害] _____ (歩いて 分)

⇒避難が必要かどうか、どんな避難情報が出たら逃げるのかもあわせて確認しましょう

◆家族と連絡をとる手段は_____です

⇒携帯電話がつながらないときの連絡手段を考えておきましょう

◆保育園・幼稚園のお迎えは_____します

⇒誰が迎えに行くか話し合っておきましょう。保育園や幼稚園にも対応の確認を

◆ライフラインの断絶に備えて_____を準備しています

⇒トイレやお風呂が使えない、料理ができないなどいろいろなことが起こります

◆備蓄品として_____を用意しています

⇒今買えなくなったら困るものは多めに備蓄を



◆非常持ち出し袋は_____に置いています

⇒すぐ持ち出せる場所に。家族で置き場所の共有を

まつやま子育て防災ページ

防災に関する情報は日々更新されます。

そこで、みなさまに最新の情報を届けできるよう、松山市HPに

役立つ情報を集めたページを作りました。

定期的にチェックして、防災情報をアップデートしましょう。



■まつやま子育て防災ページでわかること

- ・最新のハザードマップ
- ・地域の避難所の場所
- ・情報収集の方法
- ・防災お役立ち情報
- ・地域の訓練予定
- など



まつやま 子育て防災ブック



はじめに

近年大規模な災害が全国で多発しています。また松山市では南海トラフ巨大地震の発生も間近に危惧されています。

この冊子は、**松山市で活躍する女性消防団員と女性防災士の皆さんといっしょに作成しました**。必ず来る災害に備えて、今日からできることをいっしょにはじめましょう。

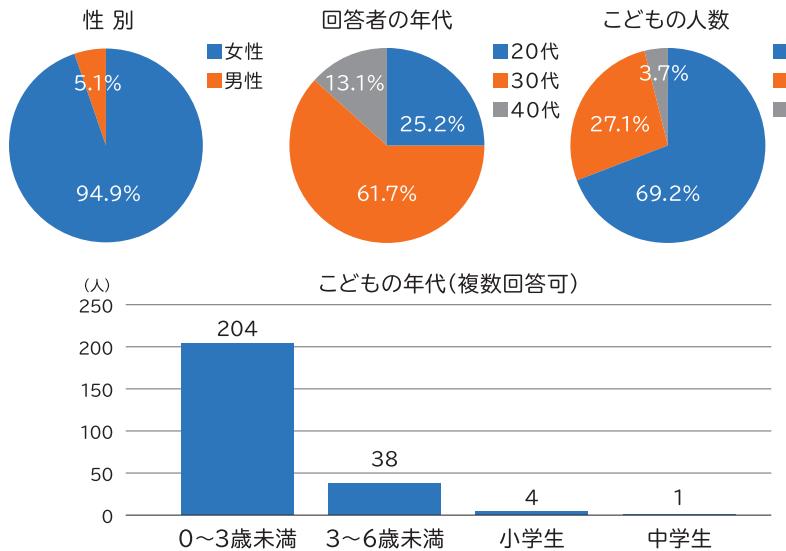
子育て世代の防災意識アンケート

令和2年11月～12月、松山市の子育て広場でママパパにアンケートを実施しました。

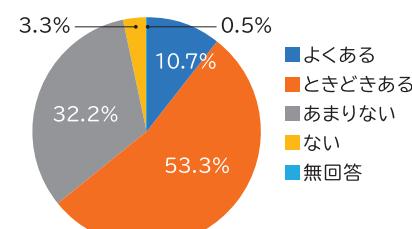
(回答数:214件)

アンケートで寄せられた疑問にも冊子の中でお答えしています。

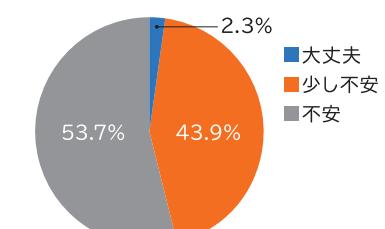
■ご回答いただいたみなさんについて



防災について、普段自分で考えたり、誰かと話すことはありますか。



大きな災害が起こったら、自分やお子様を守れると思いますか。



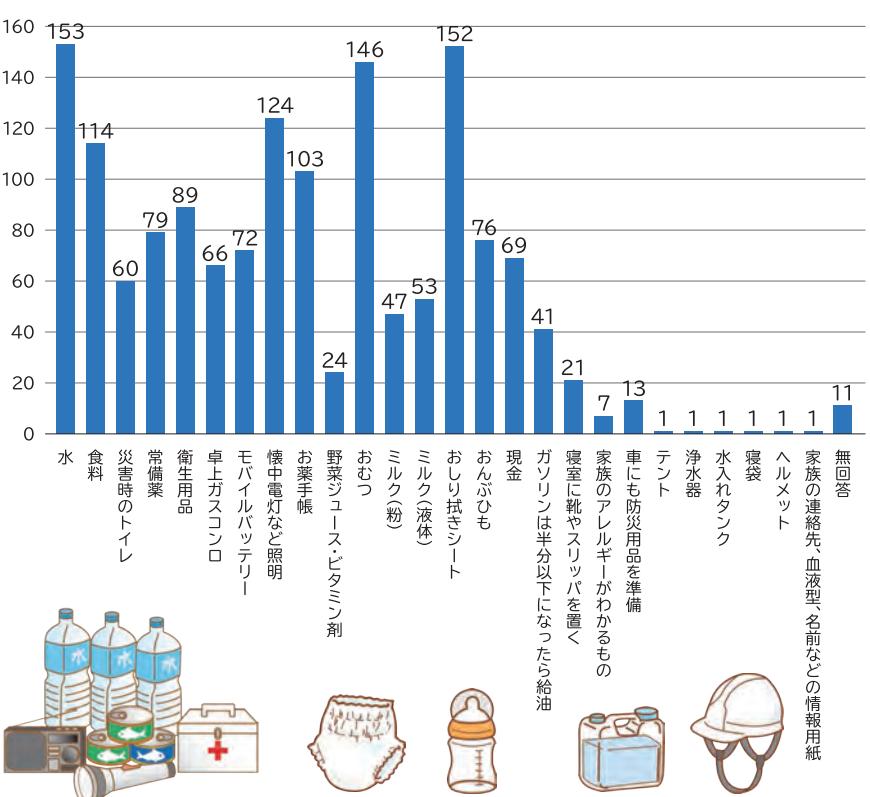
ママパパが知らないこと

- 位 保育園・幼稚園の引き渡し(91人)
- 位 災害後のこころのケア(83人)
- 位 行政や地域の防災への取組み(75人)
- 位 被災後の生活支援(70人)
- 位 避難所での生活(64人)

ママパパが知りたいこと

- 位 被災後の生活支援(150人)
- 位 避難所での生活(148人)
- 位 応急手当の方法(130人)
- 位 災害後のこころのケア(117人)
- 位 行政や地域の防災への取組み(98人)

ご家庭で備えているもの、気をつけてください。(複数回答可)



アンケートより“わが家の防災アイデア”

- ・非常食の期限が切れそうなら試食して、防災の話をしながら食べる
- ・オール電化なので、懐中電灯や卓上コンロを備えている
- ・車中泊できるように、防寒具や非常持ち出し袋を車に備えている
- ・アウトドアに興味があり、防災もかねて必要なものを備えている



⚠ 地震から身を守る

ハザードマップを確認しましょう



震度予想図



津 波



土砂災害



液状化

南海トラフ巨大地震による松山市の被害想定

南海トラフ巨大地震は、30年以内に70%～80%の確率で起こるといわれています。

平成25年 愛媛県地震被害想定調査結果(最終報告)から一部抜粋

[地震規模:M9.0、想定シーン:人的被害は冬深夜、それ以外は冬18時、風速:強風]

建物全壊棟数	揺れ	8,037棟	上水道被害	断水人口	288,134人
	液状化	2,496棟	下水道被害	支障人口	174,982人
	土砂災害	41棟	電力被害	停電軒数	198,243軒
	津波	72棟	通信被害	固定電話不通回線数	263,133回線
	火災	25,112棟	都市ガス被害	支障戸数	49,900戸
	合計	35,759棟	LPガス被害	容器転倒	4,304戸
死者数	建物倒壊	482人	1日後	89,002人	
	土砂災害	4人	1週間後	85,628人	
	津波	184人	1ヶ月後	60,518人	
	火災	45人	帰宅困難者数	36,310人	
	合計	715人	居住ゾーン以外への外出者数	25,273人	
負傷者数	建物倒壊	5,464人	食料不足量(4~7日合計)	728,066食	
	土砂災害	5人	飲料水不足量(4~7日合計)	1,406,339ℓ	
	津波	78人			
	火災	161人			
	合計	5,707人			

※数値は四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

松山市の最大震度は7!

震度7の揺れは…

- ・固定していない家具のほとんどが倒れ、飛んだりする
- ・耐震性の低い建物は倒壊するものもある
- ・がけ崩れや地滑りが起こることがある
- ・液状化現象が起こる場合もある



地震体験車で震度7を体験してみよう。
イベントや訓練で体験できます。

松山市でおこる津波

南海トラフ巨大地震が発生した場合、満潮と重なると、松山市での津波は最高で3.9mにまで達する場合も想定されています。

アンケートの声: 実際に地震が起きたらパニックになり、何をしたらよいか分からなくなりそうですね。

まずは落ち着いて身を守る行動を。

ママパパが落ち着いて、自分と子どもの安全を確保しましょう。
そのためにはいざという時の行動を、子どもといっしょに確認しておくことが大切です。



地震時の基本的行動

地震発生

1. 身を守る

- 姿勢を低く □頭を守る □動かない
- ⚠ あわてて火を消しに行くのは危険



2. 情報収集

- 自宅や地域の状況を確認
- スマートフォンなどで情報収集

3. 避難する

●津波の心配なし

- ➡ 家や周辺に危険があれば、近くの公園など一度広い場所に避難

●津波の心配あり

- ➡ 高いところに避難

⚠ 津波は何回もきます

警報が解除されるまで避難を

- 深呼吸し「落ちついて」と自分に声をかける
- 赤ちゃんは大人のおなかあたりに頭を置いて、上に覆いかぶさり、自分も頭を守ります



- 割れた食器などを踏まないように、靴やスリッパを



- 家から避難するときは

- ブレーカーを落とす
- ガスの元栓を閉める
- ブロック塀や落下物に注意



- 地震が起きたらどこに避難するか家族で話し合っておきましょう

家の中で地震が起こったら…

■お風呂やトイレ

- ・お風呂やトイレは比較的安全
- ・地震が起きたらドアを開けて出口を確保
- ・お風呂では着替えを準備
- ・浴室の鏡から離れる

■キッチン

- ・包丁や食器、大型の家具や家電が多いため危険
- ・揺れが小さい間に別の部屋に移動



おでかけ先で地震が起こったら…

■買い物をしているとき

- ・商品棚やショーウィンドウから離れる
- ・買い物かごで頭を守る

■車を運転しているとき

- ・ゆっくりと道路左に寄せ、エンジンを切る
- ・津波の危険がある時は、渋滞を避けるため車を置いて高い場所に急いで避難

■エレベーターに乗っているとき

- ・最寄りの階に停止したら、階段で避難
- ・停止しない場合は、全ての階のボタンを押して、停まった階で降りる

抱っこひも・おかしやおもちゃをいつもバッグに

地震の後は、がれきなどが散乱し、ベビーカーを押して歩くのは大変です。

日頃から抱っこひもを携帯し、抱っこで移動できるようにしましょう。

また、子どもを落ちかせるために、おかしやおもちゃも携帯しましょう。

